

**グループ討議**

ブロック別園内公開保育を通して・・・



**1. 他園から参加することによる効果**

- ・ 多様な考えを知る
- ・ 他園の先生の気づき→普段気づかないところに気づく、よい学びの機会
- ・ 園種が異なる→新しいアイデア、異なる考え方→視野が広がる→次への意識
- ・ 3～4園の人数が適当（少人数で話しやすい、気軽に参加）
- ・ 開催までの準備が職員同士の関係を深める→園内の結束力（関係づくり）
- ・ 自園では気づかないことを認めてもらい自信となる→担当者だけでなく園全体の自信となる
- ・ 今、自分が保育の中で行っていることの意味づけ、次の保育への意欲つながる→自信
- ・ 新しい観点、視点、活発な意見交換→刺激
- ・ 他園のカンファレンスを知る機会（副園長）
- ・ 乳児保育を知る機会
- ・ 近隣園との情報共有
- ・ 適度な緊張感、園全体で保育内容や環境等見直す機会
- ・ もらった意見から自分の保育を振り返る、見直す→保育が変わる



**2. 園内研修を進めるうえでの工夫**

- ・ 自分の保育を活かせる観点の設定
- ・ ポストイットなど視覚化
- ・ 記録用紙を使って、ポイントをしばっての話し合い
- ・ 写真を使ってのカンファレンス→意見が出やすい
  - 当日見ていない先生にも共有できる
  - 前日、以前からの写真を撮り、プロセスを見せることもできる
- ・ 話しやすい雰囲気づくり
  - 質問を投げかけ、若手も話しやすいように
  - 否定しない→受け止め共感
- ・ カンファレンスの時間帯の工夫
  - 公開保育後、昼食時に園に戻り、降園後に時間を持つ
  - カンファレンスまでの待機時間中、ドキュメンテーションの掲示などの工夫



**可視化**



**3. 園内研修を終えて園や職員の取り組みの変化**

- ・ 園全体で保育のふり返しを行い、保育内容や環境を見直す機会へ
- ・ 担当保育者、園全体で自信につながり、より子どもにとって良い環境を意識した保育へ
- ・ 複数担任：話し合う機会を多く持つことができた→共通認識、共有



#### 4. 次年度に向けて課題

- ・人数が多すぎて、十分意見が聞き合えなかった
- ・園内ならでの研修も実施したい
- ・公開する年齢など、園内ではなくブロック単位で検討してもいいのでは
- ・日程調整が難しい→園数を増やして柔軟性を持たせる
- ・ブロック内の園数が少ないと参加者も少ない→園数を増やしてみてもいいのでは
- ・小規模園は園を離れにくい
- ・ブロック編成について
  - 大型園、小規模園混合→同じ規模の園
  - 近隣園→いろいろな園も見たい
- ・撮った写真を深めることが難しい
- ・園が互いに力量形成につないでいけるように

日程調整が  
難しいよね

柔軟性を  
持たせてみては？

有意義な学び合いの場  
大切にしていきたいね



#### 講演

「ブロック別園内公開保育企画・運営について ～まとめ～」

講師 奈良教育大学 教授 横山 真貴子氏

#### 【 園内研修の利点（坂田, 2020） 】

- 現場直結で生きたテーマを扱えること ⇒ 実践への還元

※事実に基づくことの重要性  
=今の生きた状況に向き合う

子どもを見る目  
=見取る力  
が大切



※対話の重要性  
=新たな事実に気づき、それを基に手立てを創る（学ぶ）相互的なプロセスが必要

みんなの意見を聞く→  
私の子ども理解と違う意見の気づき

#### 【 園内研修の目的 】

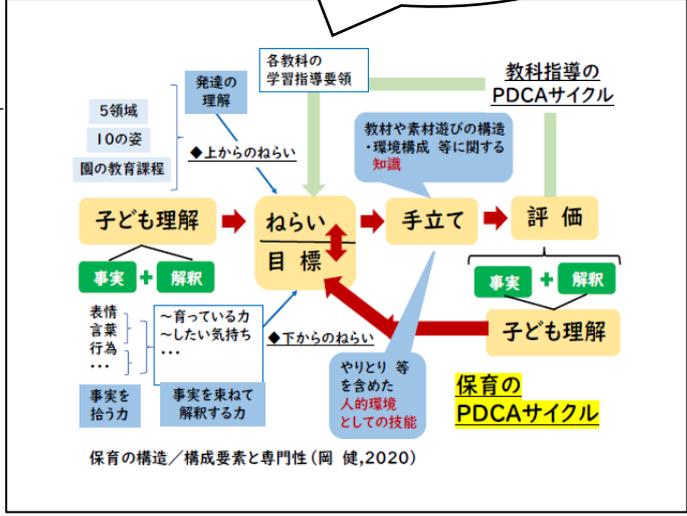
- 保育の専門性の向上  
⇒ 園内 → ブロック内 → 奈良市
- 園内での同僚性の向上（黒澤, 2016）  
⇒ チーム文化・同僚性  
⇒ 園内 → ブロック内 → 奈良市

専門性を高めつつ、  
同僚性を高めていく  
=保育力、チームワークの向上へ！

【 保育の専門性（岡 健, 2020） 】

- 発達理解（⇒ねらい）
- 教材や素材遊びの構造・環境構成等に関する知識（⇒手立て）
- やりとり等を含めた人的環境としての技能（⇒手立て）
- 事実を拾う力（⇒子ども理解）
- 事実を束ねて解釈する力（⇒子ども理解、ねらい）

子どもを見るときに  
どこに着目して・・・  
そこに学びがあるのか？  
どんな力が育っているのか？



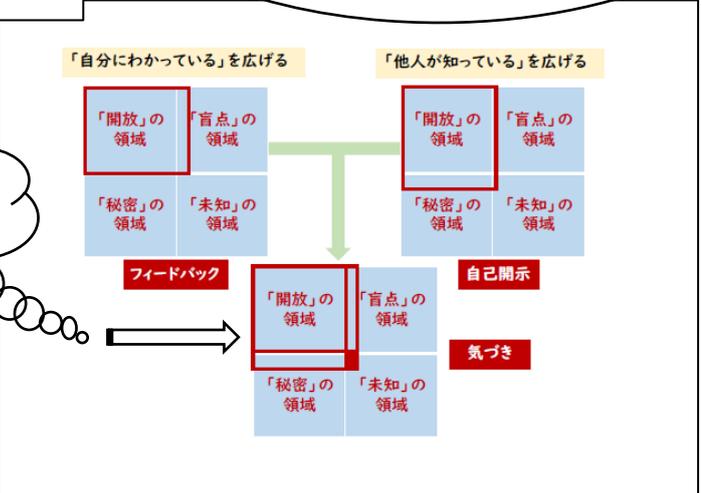
【心理学の観点から・・・】

● ジョハリの窓 (Johari Window)

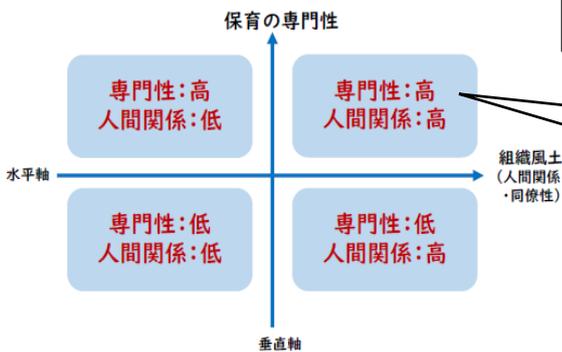
	自分にわかっている	自分にわかっている
他人にわかっている	<b>開放の窓</b> 「公開された自己」 (open self)	<b>盲点の窓</b> 「自分は気がついていないものの、他人からは見られている自己」 (blind self)
他人にわかっていない	<b>秘密の窓</b> 「隠された自己」 (hidden self)	<b>未知の窓</b> 「だれからもまだ知られていない自己」 (unknown self)

未知の窓 = 可能性の窓  
公開保育により見えてきたこと  
↓  
新しい気づき = 自分たちでは気づかない新しい気づき  
園から少し広げて、ブロック研へ・・・  
未知の窓を開いていこう！

ココの部分を増やしていこう！



状況整理のための方向図



力量を持ち  
チームワークがとれている  
客観的に見て  
どこに力をつけていくかを考えていこう